

# 2020年（令和2年）度事業報告書

## I 2020年（令和2年）度事業の総括

前年度末より新型コロナウイルス感染症が全世界へ蔓延し、経済活動のみならず、日常生活へも甚大な影響があった歴史的な一年となり、いままも不透明な状況で予断を許さず、以前の日常が取り戻せる見通しは立っていない。

財団事業においても、かつてない影響を受けることとなった。何よりも、三密（密接、密着、密閉）を避け、不要不急の外出をしないことが徹底されたこともあり、従来の活動に大きな制約を受けることとなった。特に、大人数が集合しての会合を開催することが困難となり、助成先の団体、個人のみならず、財団自身も予定していた事業の中止や延期、あるいは実施形態の変更が余儀なくされた。

同様に、助成団体・個人も活動に大きな制約を受けたため、「年度内活動を翌年度内に限り、実施の延長可能」と期中に連絡し、コロナ禍の影響を弾力的に軽減できる措置をとった。その結果、教育文化活動助成は144件中、32件が延期、11件が活動内容の変更を行い、1件が中止となっている。その他、受賞者フォロー助成・特定助成については24件中、5件が延期、3件が活動内容の変更を行い、1件が中止となっている。また、予定していた事業（助成団体アンケート調査、子どもとアートに係る事業等）を次年度に延期することとなった。期中の理事会・評議員会も開催することが困難となり、昨年は書面での表決を中心に実施し、福武教育文化賞贈賞式は、贈賞式のみで最小限人数で実施した。昨年度から延期した財団フォーラムは、オンラインによる配信、成果報告会もオンラインでの配信で実施した。

そのような中、コロナ禍で県内の教育文化活動が停滞しないよう様々な対応策も実施したが、「コロナ禍を乗り切る緊急助成」は、6月に急遽実施し、合計22件、544万円を助成した。

また、従来の集合型、対面型での会合が実質的にできないため、オンライン活用による会議体への変更を余儀なくされたが、この新たな手法は予期せぬ交流の可能性も生みだした。活動が滞りがちな助成団体に呼びかけ、地域毎、ジャンル毎のオンライン情報交換会を実施（全7回、参加総数51団体・個人）し、コロナ禍での新たな連携、コミュニケーションの深まりを感じることができた。また、前述の財団フォーラムや成果報告会もZoomで実施したが、実施内容をYouTubeに配信し、いつでもどこからでも誰でも随時見ることができるようになった。

来期の公募助成では、前年から応募件数が30%減少している。これは他の助成財団でも同様の傾向が見られ、活動継続の交流機会を創出したり、緊急助成等新たな対応が必要となることが予想される。

## 2020年（令和2年）度の主な事業実績

### 公益目的事業 I 教育文化活動支援事業

#### 1 表彰事業

「福武教育文化賞」に一本化した第2回目の贈賞式を実施した。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、受賞者や財団関係者等少人数のみでの開催となった。岡山プラザホテルで開催し、受賞者3名へ贈賞した。受賞者はそれぞれの日頃の成果を発表した。

#### 福武教育文化賞

- ① 5月～6月 推薦受付（市町村及び各教育委員会、報道機関、大学等181の宛先に依頼）
- ② 推薦状況：13件（個人6件、団体7件）
- ③ 8月19日 選考委員会を開催

川嶋 絢 氏（ピアニスト・「宙（SORA）への奏で」/津山市）、柴田れいこ 氏（写真家/津山市）、備中志事人（キャリア教育・人材育成/代表 藤井 剛 氏/井原市）の2個人、1団体を選考（当初5件の予算枠）

- ④ 10月31日 贈賞式を受賞者や関係者等少人数で開催。新型コロナウイルス感染懸念により、式典のみで交流会は実施しなかった。（会場：岡山プラザホテル 参加総数：40名）

## 2 助成事業

### (1) 教育文化活動助成(公募)

昨年度から「教育文化活動助成」として一本化し、教育的・文化的な視点から、岡山県内地域の発展・向上を目指した活動が対象で、申請区分は以下のとおりとしている。

1. 教育及び文化芸術による地域社会の課題解決や社会的価値の創造に取り組む活動
2. 教育及び文化芸術による次世代育成に取り組む活動
3. 教育の質の向上や普及に取り組む活動
4. 文化芸術の質の向上や普及に取り組む活動

#### ① 2019年12月～1月末 受付

期間中の応募総数は、241件（19年284件、18年254件、17年235件）

#### ② 審査委員に事前審査を依頼（部会別に申請書毎に採点と評価を記載）

#### ③ 3月19日審査委員会を開催

各部会4名のうち部会長1名出席して審査（密を避け、他委員は事前評価表提出のみ）

144件を採択（採択率59.7%、1件当たり平均助成金額20.83万円）、総額3,000万円  
（19年134件・2,770万円、18年126件・2,810万円、17年135件・2,835万円）

#### ④ 3月26日、理事の過半数以上の同意を得て決定。翌3月27日採否を応募者全員へ連絡

#### ⑤ 2020年4月上旬 助成金を各団体個人に支払い

11月23日オンライン成果報告会を開催。（Zoom会議による配信、交流会は実施せず）

午前4件、午後4件、合計8件をオンラインでの共有画面を活用してポスター発表。初めてのオンライン報告会となったが、午前の部、午後の部とも70名以上参加。対面の発表ではなかったが、集中して発表内容が聞けた等の好意的な評価が多かった。また、4団体発表後には、ブレイクアウトルームで、ひとつの団体毎に参加者が分かれるようにもした。従来の400名が一堂に会し情報交換や意見交換を行う大規模なものにはないメリットを追求した。審査員等も含め、約150名の参加

#### ⑥ 助成対象団体がコロナ対応により活動を延期する場合の取扱いについて連絡

#### ⑦ 活動に関するヒアリング、地域交流を図るためandF情報交換会を実施

### (2) 福武教育文化賞受賞者フォロー助成

昨年度より、受賞後3ヵ年各30万円を限度として申請に基づき助成することとし、今年度は、下記5件について助成した。

鬼ノ城塾、NPO法人未来へ、「老いと演劇」OiBokkeShi、山地 真美氏、濱田 高夫氏

### (3) 特定の特色ある活動に対する助成

昨年度に引き続き、以下の3分類として助成した。

#### ① 先進的事業助成

- ・ キャリア教育（井原市ひとつづくり実行委員会、岡山次世代教育サミット実行委員会）
- ・ 学校出前講座事業（岡山県文化連盟）
- ・ 多様な芸術文化鑑賞支援（岡山県立美術館「岡山の美術」活性化事業、対話型鑑賞支援、国吉祭2020）

#### ② グローバル化事業助成

国際的人材育成につながる活動を行う団体等に対して助成した。

- ・ 岡山県英語力向上事業支援（中学校英語4技能育成研究事業として岡山県、新見市、赤磐市）
- ・ 英語力向上につながる研修事業（総社市、備前市、矢掛町、ローバル英語研究所、たまのステューデントガイドプログラム事業）
- ・ 日中青年交流2020 STUDENT EXCHANGE（岡山県日中教育交流協議会）

### ③ 瀬戸内文化育成助成

瀬戸内文化の育成、創出のために必要なプロジェクトに対して助成した。

たまの☆おもてなし推進委員会、玉野みなと芸術フェスタ実行委員会、日本美術教育学会岡山支部

## (4) 公募助成に準じる緊急を要する等の助成

「コロナ禍を乗り越えるための緊急助成」として、以下の助成を緊急に実施した。

対象となる活動 ● コロナ禍を乗り越えるための教育文化活動の課題解決を進める活動・調査・研究

● 新たな社会環境において教育文化の価値を高めていくための活動・調査・研究

受付期間 2020年6月1日から受付開始。9月15日に受付締切

助成件数 22件（応募総数：33件） 助成金額 544万円

## (5) 周年記念事業助成（国吉康雄寄付講座）

30周年記念事業として、2015年後期から2019年度末まで、5年半にわたり岡山県の教育文化の振興に寄与する事業として、岡山大学教育学部に「国吉康雄を中心とする美術鑑賞教育研究講座」（現在は、「国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座」）にかかる費用の一部を助成金として負担した国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座へ3ヵ年（2018～2020年度）継続助成したものである。

### 【助成事業一覧】

事業内容	助成件数	助成金額（万円）
教育文化活動助成（応募284件）	144	3,000
福武教育文化賞受賞者フォロー助成	5	150
特定助成	19	873
コロナ禍を乗り越えるための緊急助成	22	544
周年記念事業助成	1	1,050
合計	191件	5,617万円

## 3 研修会等開催事業

### (1) 研修会・講演会開催

#### ① フォーラム

前年度3月29日にJunko Fukutake Hallで予定していたフォーラム「ここに生きる ここで創る vol.9」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐ観点から7月に延期。感染予防からZoomウェビナーによるオンライン形式で7月25日に開催した。

「地域資源の地消地産を文化に」をテーマに、日本全国のあらゆる町を歩いてきた地域エコノミスト藻谷浩介氏をゲストに迎え基調講演を、その後、岡山の地域資源を活用し地域活性化に取り組む青山雅史氏（引両紋 代表取締役）、川崎好美氏（岡山県立倉敷商業高等学校 教諭）、和田優輝氏（和田デザイン事務所 代表取締役）の3氏と「岡山にできて東京にできないこと」についてトークセッションを行う。参加者約100名

#### ② andF 教室

新型コロナウイルス感染予防のため、集合せず Zoom ミーティングによるオンライン形式で実施。

助成先団体や地域で活動する個人・団体を対象に、共通する課題（運営、基盤等）の解決につながる研修を実施。財団にとって、有益な地域情報を入手し交流する機会になり、地域課題の認識を深めることができた。計2回実施し、参加者計38名

- ・第9回 助成金の基本の「き」を学ぶ—申請前に知っておきたい、やっておきたい準備  
講師：山田泰久(般財団法人非営利組織評価センター業務執行理事)
- ・第10回 グラフィックコーディングの基本の「き」を学ぶ—明日からつかえるコツをつかむ。  
講師：北浦菜緒(カンコーマナボネクト(株)所属/教育コーディネーター)

## 4 調査研究事業

岡山県の子どもたちの教育文化課題の解決や人間力向上のために必要な調査研究等を中長期の視点で以下のような活動を行った。

### (1) 資金調達説明会等への参加

活動内容紹介を通じ、助成先候補団体・個人との相談機会を持ち、現場情報の収集に努めた。

- ・ みんなでつくる財団おかやま主催「みんなの活動」官民合同資金調達説明会・相談会に外部講師参加(6月9日)
- ・ 津山市地域づくりサポートセンター主催「みんなの集いシリーズ」に外部講師参加(9月9日)
- ・ 岡山県内の文化芸術関係財団・社団法人の情報交換会を開催(9月17日)
- ・ 岡山市市民局協働企画総務課主催「地域の活動における資金調達講座」に外部講師参加(10月7日)
- ・ 岡山県中山間地域協働支援センター・岡山県主催「～With & After コロナに備える～おかやま元気!集落や地域おこし協力隊等と企業・団体とのマッチング・ムービー」に参加(1月30日)

### (2) 助成事業における追跡調査(公募助成事業の追跡調査)の延期

過去に助成した団体への追跡調査アンケートを実施し、分析、ヒアリング、総括を35周年事業として実施を予定していたが、コロナ禍で延期とした。

### (3) 小学生の美術館体験事業助成事業延期

実験的な取り組みとして、美術館や小学校、文化団体等と連携し、小学生の美術館体験が持続可能となる仕組み作りに取り組む予定をしていたが、一斉休校等もあり延期した。

### (4) だっぴキャスト大学生の意識調査

特定非営利活動法人だっぴに関わった大学生の意識調査を岡山大学グローバル・ディスカバリー・プログラムと連携して実施する予定だったが、コロナ禍において、大学での活動等が制約を受けることとなり、事業を中止した。

## 5 主催公演事業

昨年度に引き続き、今年度は休止中

## 6 広報事業

コロナ禍による市民活動の減少を懸念し、財団の活動に対する認知や公募助成の周知をより高めるべく様々な施策を行った。経費節減で新聞広報等は中止したが、広報機会を増やし、丁寧な対応に努めた。

- ・ 県内市町村教育委員会の文化教育担当課に加え、地域づくり推進課等への巡回訪問を行った。
- ・ 財団公式Webサイトは予定通り年6回の更新を行った。
- ・ 財団機関誌「FUEKI」は、72号と73号との合併特別としてタブロイド版で10月に発刊。74号は通常版で1月に発刊。3回発刊の予定が2回となった。
- ・ 財団公式Facebookは、いいね!、フォロワーを伸ばすため、ほぼ毎日更新を実施し、WEBサイトへの誘導も行った。
- ・ 公募助成申請希望者を対象にandF相談会(個別相談会)を合計35件の団体・個人に対応した。

コロナ禍で助成団体の活動状況等を把握するため、エリア別情報交換会をオンライン形式で実施した。審査委員他関係者も参加し有意義な会となった。

- ・ 浅口市・笠岡市・井原市・矢掛町エリア(13 団体)(8 月 8 日)
- ・ 津山市エリア(10 団体)(9 月 19 日)
- ・ 高梁市・総社市・加賀郡・久米郡エリア(13 団体)(10 月 24 日)
- ・ 新見市・美作市・勝田郡・苫田郡・英田郡エリア(12 団体)(11 月 14 日)
- ・ 玉野市・早島エリア(9 団体)(12 月 12 日)
- ・ 瀬戸内市・赤磐市・備前市・和気町エリア(13 団体)(2 月 6 日)
- ・ 倉敷市エリア(10 団体)(3 月 20 日)

## 7 周年記念事業

「国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座」への3 年継続助成として、3 年目の助成を行った。

## 財団運営

### 1 理事会・評議員会

#### ○ 2020 年(令和 2 年)5 月 22 日

##### 第 1 回理事会(書面)

- 提案① 2019 年(令和元年)度事業報告及び決算の承認の件
- 提案② 2020 年(令和 2 年)度定時評議員会開催の件
- 提案③ 評議員候補者の提案の件
- 提案④ 理事・監事候補者の提案の件
- 提案⑤ 再選後の理事長、副理事長及び常任理事の選定の件
- 提案⑥ 2020 年(令和 2 年)度選考委員会委員の選任の件
- 報告① 代表理事等職務執行状況報告
- 報告② 資金運用状況報告
- 報告③ 2019 年(令和元年)度助成事業の報告

#### ○ 2020 年(令和 2 年)6 月 5 日

##### 定時評議員会(書面)

- 提案① 2019 年(令和元年)度事業報告及び決算の承認の件
- 提案② 評議員の選任の件
- 提案③ 理事及び監事の選任の件
- 報告① 2019 年(令和元年)度助成事業の報告

#### ○ 2020 年(令和 2 年)6 月 12 日

##### 第 2 回理事会(書面)

- 議案① 株主としての権利行使承認の件

#### ○ 2021 年(令和 3 年)1 月 15 日

##### 第 3 回理事会(書面)

- 提案① 2021 年(令和 3 年)度助成事業審査委員会委員の選任の件
- 提案② 2020 年(令和 2 年)第 2 回評議員会開催の件

#### ○ 2021 年(令和 3 年)3 月 13 日

##### (1) 第 4 回理事会

- 議案① 2020 年(令和 2 年)度収支予算書の補正の件
- 議案② 2021 年(令和 3 年)度事業計画書・収支予算書の件
- 議案③ 評議員の辞任の件

- 議案④ 就業規則の一部改正の件
- 報告① 代表理事等職務執行状況
- 報告② 岡山大学寄付講座 第2期活動と第3期活動方針の報告

(2) 第2回評議員会

- 議案① 2020年(令和2年)度収支予算書の補正の件
- 議案② 2021年(令和3年)度事業計画書・収支予算書の件
- 議案③ 評議員の辞任の件
- 報告① 岡山大学寄付講座 第2期活動と第3期活動方針の報告

## 2 事務局

(1) 新型コロナウイルス感染対応のため、4月から12月にかけて在宅勤務を行った。

4月7日首都圏等に「緊急事態宣言」が発出され、三密を避け、人との接触を70%減少させることが不可欠であると行動変容が迫られ、同19日には全国に緊急事態宣言が出された。

財団では、職員の安全、安心確保のため、理事長協議のうえ「人との接触機会を減らすため、職員の出勤を限定する」こととし、当面一か月は、最低1名は事務所に出勤。他職員は、各在宅にて勤務することとした。当初、在宅勤務が可能なツールが揃っていなかったが、ベネッセIT担当に相談し、勤務可能な体制を整え、また、オンライン配信を可能とするための新しいパソコン購入や、Zoomミーティング、Zoomウェビナー等も日常業務として、在宅勤務でも使用できるようにした。

財団事務所を空けることはなく、事務所勤務と在宅勤務を併用とし、4月から12月までの9ヶ月間で一人当たり月平均48時間の在宅勤務を行った。1月よりほぼ従来の勤務に戻している。

(2) 2月17日岡山県生活環境部文化振興課(岡山県公益認定等委員会事務局)職員2名による立入検査を受けた。特段の重要な指摘はなかったが、「役員の履歴について、就任時以降に新たな団体等への就任もありうるので、その際には事務局に通知してもらうよう依頼しておくべき」との注意があった。

## Ⅱ 事業報告の附属明細書

### 1 役員等に関する事項

令和3年3月31日現在

役職名	氏名	就任年月日	常勤・非常勤 (報酬)	現職	備考
名誉顧問	福武總一郎	平成27年6月13日	(無)	株式会社ベネッセホールディングス 名誉顧問	
代表理事 理事長	松浦俊明	重任 令和2年6月12日	非常勤(有)	株式会社南方ホールディングス 代表取締役	
代表理事 副理事長	片山浩子	重任 令和2年6月12日		学校法人アジアの風 岡山外語学院 理事長	
常任理事	中野行雄	重任 令和2年6月12日	週2日勤務 (有)	元岡山県備前県民局 局長	
理事	谷一尚	重任 令和2年6月12日	非常勤(有)	一般財団法人林原美術館 館長	
	福武美津子	重任 令和2年6月12日		株式会社イルグラード 代表取締役	
	森田 潔	重任 令和2年6月12日		川崎医科大学特任教授 前 岡山大学 学長	

役職名	氏名	就任年月日	常勤・非常勤 (報酬)	現職	備考
監事	佐藤由美子	重任 令和2年6月12日	非常勤(有)	奥田法律事務所 弁護士	
	沼澄夫	重任 令和2年6月12日		沼澄夫税理士事務所 税理士	
評議員	足羽憲治	重任 令和2年6月12日	非常勤(有)	岡山県信用保証協会 会長 元 岡山県 副知事	
	越宗孝昌	重任 令和2年6月12日		株式会社山陽新聞社 相談役	
	下妻道郎	重任 令和2年6月12日		株式会社南方ホールディングス 取締役	
	竹井千庫	重任 令和2年6月12日		公益財団法人 日本教育公務員弘済会 岡山県支部 支部長 前 岡山県教育委員会 教育長	
	中島義雄	重任 令和2年6月12日		ナカシマホールディングス株式会社 常務取締役	
	原憲一	重任 令和2年6月12日		RSK ホールディングス株式会社 代表取締役会長	
	許南浩	重任 令和2年6月12日		倉敷芸術科学大学 副学長	令和3年3月31 付けで退任
	松本芳範	重任 令和2年6月12日		株式会社ベネッセホールディングス 常勤監査役	
守安 收	重任 令和2年6月12日	岡山県立美術館 館長			

## 2 職員に関する事項

令和3年3月31日現在

職名	氏名	採用年月日	担当事務	常勤・非常勤	給与月額	備考
事務局長	小川隆正	平成26年4月1日	総括 教育文化事業総括	常勤	有	
参与	平山竜美	平成25年4月1日	教育事業助言	非常勤	有(日額)	
職員	三宅千代子	平成13年5月1日	経理・庶務 表彰事業	常勤	有	
職員	植月公子	平成19年4月1日	助成事業	常勤	有	
職員	和田広子	平成20年4月1日	研修会等開催、 調査研究、広報事業	常勤	有	

### 3 役員会等に関する事項

#### (1) 理事会

開催又は提案年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和2年5月22日 (第1回) 書面決議	第1号提案 2019年(令和元年)度事業報告及び決算の承認の件 第2号提案 書面決議による2020年(令和2年)度定時評議員会開催の件 第3号提案 評議員候補者の提案の件 第4号提案 理事及び監事候補者の提案の件 第5号提案 再選後の理事長、副理事長及び常任理事の選定の件 第6号提案 2020年(令和2年)度表彰事業選考委員会委員の選任の件 報告事項1 代表理事等職務執行状況報告 報告事項2 資金運用状況報告 報告事項3 2019年(令和元年)度助成事業報告	5月28日 可 決
令和2年6月12日 (第2回) 書面決議	第1号提案 株主としての権利行使承認の件	6月16日 可 決
令和3年1月15日 (第3回) 書面決議	第1号提案 2021年(令和3年)度助成事業審査委員会委員の選任の件 第2号提案 2020年(令和2年)度第2回評議員会開催の件	1月21日 可 決
令和3年3月13日 (第4回)	第1号議案 2020年(令和2年)度収支予算書の補正の件 第2号議案 2021年(令和3年)度事業計画書・収支予算書の件 第3号議案 評議員の辞任の件 第4号議案 就業規則の一部改正の件 報告事項1 代表理事等職務執行状況報告 報告事項2 岡山大学寄付講座第2期活動と第3期活動方針報告	3月13日 可 決

#### (2) 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和2年6月5日 (定時) 書面決議	第1号提案 2019年(令和元年)度事業報告及び決算の承認の件 第2号提案 評議員の選任の件 第3号提案 理事及び監事の選任の件 報告事項1 2019年(令和元年)度助成事業報告	6月12日 可 決
令和3年3月13日 (第2回)	第1号議案 2020年(令和2年)度収支予算書の補正の件 第2号議案 2021年(令和3年)度事業計画書・収支予算書の件 第3号議案 評議員の辞任の件 報告事項1 岡山大学寄付講座第2期活動と第3期活動方針報告	3月13日 可 決

### 4 行政庁等への申請・届出等に関する事項

申請・届出等年月日	申請・届出等事項	備 考
令和2年6月26日	事業報告等の提出	岡山県知事
令和3年3月31日	事業計画書等の提出	岡山県知事



## 5 主要な契約に関する事項

契約年月日	相手方	契約の概要
該当なし		

## 6 寄附金等に関する事項

寄附の目的	寄附者	申込金額	領収金額	備考
該当なし				

## 7 行政庁の指示に関する事項

指示年月日	指示事項	履行状況
令和3年2月17日	理事、監事及び評議員の就任以降も、公益社団法人及び公益財団法人の認定に関する法律第6条第1項に定める欠格事由に該当していないことを把握できるようにすること。	指示事項に基づく確認書を作成し、岡山県文化振興課へ提出済み。年1回、理事、監事及び評議員へ提出を依頼する予定。

## 8 税法上の収益事業の有無

届出事業の種類	収入	備考
該当なし		

## 9 その他の注意事項

該当なし